

プラスチック製ウォーターボトル中の BPA について



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2018 年 8 月 20 日(月) [SAFETY](#)

プラスチック製ウォーターボトルでは飲まないようにという新しい記事が、最近ではいつもインターネットに見られ、2つ、5つ或いはそれ以上の理由が挙げられています。その理由が信頼できるものならばその忠告は意味がありますが、記事に足りないのはまさに信頼性です。

皆さんがどうやってオンライン上の多くの理由を無視して、できるだけたくさんプラスチック製ウォーターボトルから飲み続けられるか、以下の3つの簡単な理由をご覧ください。

1.プラスチック製ウォーター(及びソーダ)ボトルには BPA は含まれていません

プラスチック製ウォーターボトルを避ける際にほとんどの記事が掲げる一番の理由は、ボトルにビスフェノール A(BPA)が含まれているということです。記事には通常、プラスチック製ウォーターボトルの写真が表示されています。

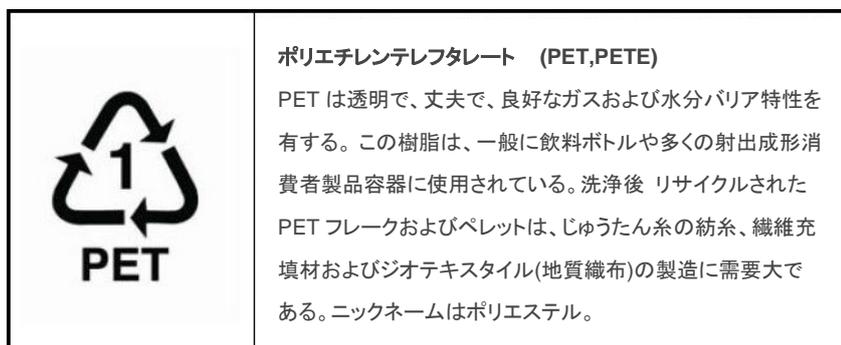


このことは皆さんが BPA に不安を感じていて、実際にウォーターボトルに BPA が含まれていた場合には、プラスチック製のボトルを避ける理由になるかもしれません。しかしプラスチック製ウォーターボトルはこれまでも、そして今でも BPA を含んでいません。

ほとんどすべてのプラスチック製ウォーター(及びソーダ)ボトルは実際にはポリエチレンテレフタレート(PET)と呼ばれるプラスチックから作られているというのが真実です。

BPA で PET を製造している訳ではありませんし、PET は BPA を全く含んでいません。また BPA 同様にプラスチック製ウォーターボトルを使用しないように言われるもう一つの理由であるビスフェノール S のような BPA 類似化合物も PET には含まれていません。

たしかにボトルの底に「[樹脂識別コード](#)」があります。このコードは内側に 1 という番号がある三角形でできています。番号 1 は PET を示し、通常は三角形の下にも PET と表示されています。



2. BPA は飲食料品と接触しても安全です

BPA は、ポリカーボネートおよびエポキシ樹脂を製造するために最も一般的に使用されます。両材料は、私たちの生活をより良く、より安全にするための製品に毎日 [広く使われています](#)。

[しっかりした科学研究](#)と政府のレビューから、極微量の BPA 曝露は安全であることがわかっています。 [ウェブサイト上で](#)米国食品医薬品局(FDA)は BPA の安全性に関する重要な質問に FAQ の形で簡潔に質問し、答えています。



さらに BPA に関してこれまで実施された最大の研究である [CLARITY Core Study](#) では、「BPA はバックグラウンドと区別可能な最小限度の影響を生じました。」と [結論づけています](#)。

これらの結果は、CLARITY プログラム以前に行われた、人々が曝露している極低レベルでは BPA は健康影響を引き起こす可能性は低いとの研究と一致しています。

報告書案とともに発表された FDA の[声明](#)では、FDA の食品動物用医薬品部副長官の Stephen Ostroff 博士は次のように述べています。

「初期レビューでは、現在認められた BPA 使用法は引き続き消費者にとって安全であると言う我々の決定を支持しました。」

BPA の安全性に関する FDA の見解が最も直接的かつ明確かもしれませんが、世界中の多くの政府機関がそれと同じ見解を共有しています。皆さんが世界中のどこにいても、BPA が安全だと確信することができます。

3. 飲食料品製品に使用されるプラスチックは安全です

FDA は飲食料品に接触する製品に存在するすべてのプラスチックを規制し、目的の用途が安全であることを保証します。これらの製品には、食品包装および保存容器、およびウォーターボトルに使用される PET が含まれています。

FDA の規制は厳密に安全性を配慮しており、FDA の安全要件を満たさないプラスチックの食品接触製品への使用は許可されていません。世界中のすべての主要国には同様の規制制度があります。それでわかったでしょ。プラスチック製ウォーターボトルで安全に飲むことができますが、知っていた方が良いと思われるヒントを 2,3 お伝えします。

プラスチック製ウォーターボトルには BPA は含まれていませんが、使用後には有害な恐れのあるバクテリアが含まれている可能性があります。プラスチック製ウォーターボトルを再利用することは問題ありませんが、食後にカップや食器をきれいにすると同様に、ウォーターボトルの使用後は必ず洗剤とお湯できれいに洗ってください。

そしてボトルを使い終えたら、それをプラスチックキャップと一緒に青いリサイクル用分別箱に投げ入れてください。ペットボトルはほとんど例外なくリサイクル用に回収されています。私たちが忘れずにリサイクルを行えば、そのボトルはもっと長く使えるのです。